

令和3年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地域の現状として、起伏の多い地域であり地域ケアプラザに気軽に通うのも高齢者にとっては難しいところがあります。また、地域包括ケアシステムの構築については初期段階にあります。
 今後の方向性として、従来どおり積極的に地域に向き、顔の見える関係作りを引き続き行います。また学校関係者等との連携を深め、生徒や保護者にも地域ケアプラザの周知を図ったり、広報誌や事業のチラシの配布場所を拡充します。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域関係者や区役所・区社協・介護保険事業所などとの繋がりを強め推進を図ります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	地域で行われている事業やイベントに今まで参加できていなかった住民についてどうしたら参加できるのか、その方法を具体的に考える。個別ケースでの検討となると思われるが自治会、民生委員等、地域の福祉関係者とも一緒に考えていきます。
<input type="checkbox"/>	■	屋根がなくとも人が集まるところは「居場所」となり岡村地区にある暗渠の有効活用については連携をさせていただきたいと考えています。オープニングセレモニーの後には暗渠でのウォーキング講座(介護予防支援事業にて講師も派遣)を開催する予定です。
■	<input type="checkbox"/>	高齢者だけではなく多世代交流やICTの普及もふまえた事業の開催を行います。地区別支援チームについては今年度から始まるものであり、ケアプラザが担うべき役割りの確認や、具体的な取組の検討ができればと思っています。
<input type="checkbox"/>	■	4月から月に1~2回定期的な学習会を開催し、元気づくりステーションでコグニサイズやリズム体操の実践を重ねます。下半期に岡村ハイムで開催する「元気にハツラツ広場」で、地域住民に向けた活動を開始します。
<input type="checkbox"/>	■	今年度は滝頭地区にて個別ケース地域ケア会議を予定です。現状は認知症、8050問題、生活困窮など偏りなく様々な相談を受けており、その中から地域課題を明確化していきます。昨年度からの継続として岡村西部第二自治会を対象とした2回目の包括レベル地域ケア会議も開催する予定です。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍で地域の活動も中止になってしまったこともあり、予定通りに参加することはできなかった。年度後半は緊急事態宣言も解除され、活動も徐々に再開されたため積極的に参加させていただきました。
 事業や地域ケア会議の実施も感染対策を考えながら、安全を重視しながら無理のない範囲で事業を実施しました。地域への介護予防支援団体「花笑みの会」の立ち上げ支援が実現したことは今年度の大きな成果でした。

区からのコメント

ケアプラザの事業のみならず、地域の事業もコロナの影響で中止になることが多く、情報の収集にも苦労されたことと思います。
 その中でも、介護予防支援団体の立ち上げや、出張相談会等のアウトリーチ活動から地域課題やニーズを顕在化させたことはすばらしい成果だったと考えます。また、サロン活動に関して、地域側の実施したいという強い要望に寄り添いながら取り組んだことは良い経験になったのではないのでしょうか。来年度は、個別ニーズや包括レベル地域ケア会議で顕在化した課題について、地域と一緒に解決方法を検討していくことを期待しています。

介護予防パートナー講座により立ち上がった「花笑みの会」については、今後、エリア内の展開はもちろん、滝頭エリアだけではなく、区域全体にも影響力を発信し、介護予防の取組にさらに活躍できるよう、引き続きともに支援していきたいと考えています。